

3歳児ちゅうりっぷ組 保育指導案

男児6名 女児2名 計8名
指導者 中村 春美 有川 さゆり

1 本園の研究主題との関連から

(1) 本園教育課程3歳児の重点目標

幼児の興味・関心に基づく自発的活動を重視しながら、豊かな心情の芽生えを大切にするとともに、生活習慣を身に付け、生活の自立を促す。

○生活習慣の体得と自立 ○自発的な活動の重視 ○健康・安全への意識の芽生え

(2) 教育課程Ⅲ期（9・10月）の求める姿及び領域のねらいと内容（抜粋）

Ⅲ期：好きな遊びや友達が広がり始める時期

ねらい ○ 友達と一緒に身体を動かして遊ぶことを喜ぶ。
○ いろいろな遊具や素材に興味をもって、自分なりに使ったり、遊んだりしようとする。
○ 身近な自然や動植物に触れて遊ぶことを喜ぶ。
○ 自分のしたい遊びを見付け、友達と一緒にいる楽しさを味わう。

内容 ○ ダンスや体操などをして、友達と一緒に運動的な遊びをすることを喜ぶ。
○ 自分のしたい遊びを見付け、それに必要な遊び道具や材料を自分なりに選んで使おうとする。
○ 園庭の虫や小動物に興味をもち、集めたり、年長児が世話をする様子を見たりする。
○好きな遊びを見付け、安心して遊び、友達と一緒にいる楽しさを感じる。

(3) 3歳児における環境教育で大切にしていること

- 教師や友達と親しみ、安心感をもって、ともに生活する楽しさを感じられるよう関わる。
- 園内の自然をはじめとする身近な環境にゆっくりとした時間の中で、興味や関心をもったものに繰り返しじっくりと関わる体験を重ねていく。諸感覚を働かせながら感触を楽しんだり、触れたり、親しんだり、喜びや美しさ、不思議さを感じたりすることを膨らませていく。
- カブトムシの羽化やダンゴムシの赤ちゃんの誕生、アサガオやチューリップの栽培、自然や自然物への初めての発見など、感動体験に出合う機会をつくる。
- Ⅲ期においては、教師や友達と一緒に、この時期に咲く花や葉、落ち葉や木の実、秋の虫など、秋の自然に興味をもって繰り返し関わりながら、触れることを喜んだり、自分なりに気付いたりする力を育んでいく。

2 幼児の実態

幼児は、秋の自然の中で、心地よい気候を身体で感じたり、この時期に咲く花や葉、木の実、種などに触れて遊んだりすることを楽しんでいる。

友達と一緒に雲梯にぶら下がったり、鉄棒で足抜き回りに挑戦したりと身体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。オシロイバナやアサガオなどの花を使って、色水づくりを楽しみ、きれいな色が

できたことを喜んだり、色の違いに気付いたりして、教師に自分なりに伝える姿が見られる。ダンゴムシやイナゴ、コオロギなどを探すことを楽しんだり、鳴き声に気付いたりしている。ドングリや種が割れることを発見し、繰り返し割って、中から出てくるものに興味をもっている。

3 週のねらいと内容

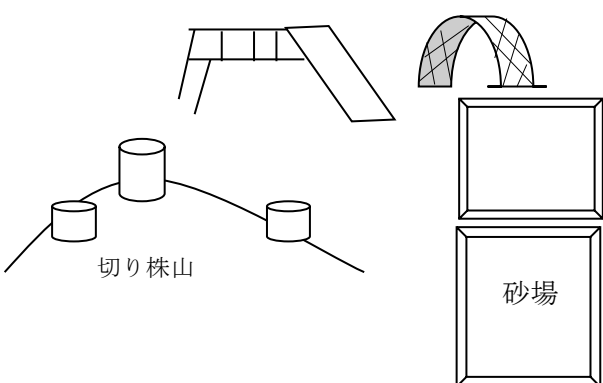
- 友達と一緒に、木の実や種、葉、花に触れて遊ぶことを楽しむ。
- 友達と一緒に、サーキットで身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 木の実を転がしたり、割ったりして遊ぶ。
 - ・ 花や葉で色水をつくったり、色を塗ったりして遊ぶ。
 - ・ 滑り台コースの中で、教師や友達と準備をしたり、身体全体を動かしたりして遊ぶ。

4 本日のねらいと内容

- 花や葉を使って色を塗ったり、色水をつくったりすることを楽しむ。
- 道具を使って、木の実や種を割ることを楽しむ。
- 木の実を転がす道をつくったり、いろいろな木の実を転がしたりして遊ぶことを楽しむ。
- 秋の心地よい気候を感じ、滑り台コースで身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

- ・ オシロイバナの花や葉、タンポポなどを使って色を塗ったり、小さく丸めることで色に変化することに気付いたり、色水をつくり、ジュースなどに見立てたりして遊ぶ。
- ・ 石やすりこぎを使って、ドングリやオシロイバナ、クスノミなどの種を割って遊ぶ。
- ・ トイレットペーパーの芯や牛乳パックでつくったレーンを並べたり、組み合わせたり、教師や自分たちでつくった道にクヌギやマテバシイ、クスノミなどを転がしたりして遊ぶ。
- ・ 登ったり、ジャンプしたり、バランスよく歩いたりして遊ぶ。
- ・ 「ききましよう・おはなししましよう」の中で、楽しかったことや見付けたことを話したり、表情や動きで表したりする。

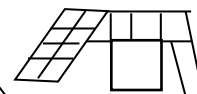
5 本日の流れ

時間	幼児の活動	〔 〕 予想される幼児の姿	○ 環境の構成
8:45～ 9:10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登園する。 ○ 所持品の整理をする。 ○ チューリップの水やりをする。 		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">いちょうひろば</div> 
9:10～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな遊びをする。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・植物の塗り絵・色水 ・木の実・種割り ・木の実転がし ・滑り台コース など </div>	<p style="text-align: center;">植物の塗り絵・色水</p> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>オシロイバナの花や葉，タンポポ，ツユクサなどを使って，チョウや魚の色を塗るだろう。繰り返し遊ぶ中で，葉や花を丸めると，色が濃くなることに気付くだろう。色水をつかってペットボトルなどに入れ，ジュースなどに見立てて，遊ぶ姿が見られるだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ (色塗り) チョウや魚，クワガタの絵，花や葉 <li style="padding-left: 20px;">(色水) すり鉢，すりこぎ，ペットボトル，カップ <li style="padding-left: 40px;">じょうご，水，花，葉など ☆ 植物から出る自然の色の美しさや配色などを具体的に認めたり，共感したり，色の濃さに気付いたりするような言葉掛けをする。 ☆ 幼児がつくった色水の良さを認めたり，きれいな色に共感したりする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「自然の色ってきれいだね」「混ぜたら虹色になったね」 「カルピスみたいね」 「ぶどうジュースが作りたいたね」</p> </div>	
さくら組保育室		ちゅうりっぷ組保育室	

花壇

アジサイ園

築山



滑り台コース

秋の心地よい気候の中で、幼児と一緒に何を置くか相談しながら、木からジャンプしたり、平均台やフープなどを組み合わせたりして、コースをつくるだろう。友達と一緒に登ったり、ジャンプしたり、バランスよく歩いたりして何度も繰り返して遊ぶだろう。

○ 平均台、フープ、巧技台、マットなど

☆ 安全面に気を付けながら、幼児が自分で登ったり、ジャンプしたりする姿を見守ったり、支えたりする。ゴールした喜びを一緒に共感する。

「今日は何を使おうか?」「初めて木からジャンプできたね。すごいね」
「気をつけて跳ぼうね」「やったね。ゴールしたね」

木の実割り・木の実転がし

自分たちで探した石などを使って、クヌギやマテバシイ、オシロイバナの種を割ることを楽しむだろう。中身を見て驚いたり、教師に見せたりするだろう。

牛乳パックでつくったレーンを巧技台の滑り台に並べたり、組み合わせたりして道をつくらしたりするだろう。教師や自分たちでつくったレーンに、友達と一緒にクヌギやマテバシイ、クスノミなどを転がしたりして遊んだり、的に当たって喜んだりする幼児が見られるだろう。

○ (木の実割り) 石、クヌギ・マテバシイなどのドングリ、オシロイバナ・クスノキの実などの種 木製の板

(木の実転がし) 滑り台、ソフト積み木、牛乳パックで作った道、とい、クヌギ・マテバシイなどのドングリ、オシロイバナ・クスノキの実などの種 など

☆ 安全面に気を付けながら、幼児が木の実を割る姿を見守り、割れた達成感を共感したり、中身を見て、一緒に驚いたりする。

☆ 幼児の考えを聞きながら、道をつくる手伝いをしたり、教師も遊びの仲間となって転がして、その動きを一緒に楽しんだり、上手く転がるように、考え直したりする。

「種の中は白かったね」「ドングリの中から虫がでてきたね。かわいいね」
「どんな道にする?」「どうしたらうまく転がるかな?」

ぽぷら組保育室

絵本の
部屋

アトリエ

遊戯室

多目的室

職員室

時間	幼児の活動	○ 環境の構成 ☆ 教師の援助
10:20	○ 片付ける。 ○ 排泄, 手洗い, うがい, 水分補給をする。	☆ 排泄や手洗い, うがいを見守り, 必要に応じて言葉をかける。
10:50	○ 集まりをする。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・手遊びをする。 ・歌をうたう。 ・出席確認をする。 </div> など ○ ふりかえりをする。 「ききましよう・おはなしましよう」	☆ 早く準備が終わった幼児から加われるような遊びをしながら, 全員が終わるのを待つようにする。 ☆ 楽しかったことや嬉しかったことを自由に話す中で, 話の内容を繰り返したり, 質問したり, 付け加えたりしていく。また, 話が他の幼児にも伝わるように代弁したり, 友達や教師に共感してもらおう喜びを感じたりしていけるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 話がしたくなるように, 幼児がしていたことや幼児の気持ちを認める。 「○○したよね」 ○ みんなに伝わるように説明を加えたり, 一緒に遊んだ幼児からも話を引き出したり, 実物を見せたりしていく。 「○○が楽しかったんだね。△△さんもしていたね」 		

6 評価の観点

- 花や葉を使って色を塗ったり, 色水をつくったり, 木の実や種を割ったり, 木の実を転がす道をつくったりして, 秋の自然に触れることを楽しんでいたか。
- 秋の心地よい気候を感じ, 滑り台コースで身体を動かして遊ぶことを楽しんでいたか。
- 「ききましよう・おはなしましよう」では, 楽しかったことや嬉しかったことを伝え, 教師や友達に受容されたり, 共感してもらったりする心地よさを感じていたか。